「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及啓発」に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

　大阪府はこれまで、太陽光発電システム製造者、施工店及び販売店と連携し、府民が安心して既存の住宅の屋根に太陽光パネルを設置できるような仕組づくり、及び太陽電池発電設備の普及促進に努めてきた。近年、既存の住宅での太陽電池発電設備の設置件数の伸びが鈍化する一方で、新築住宅での設置件数が増加しているという背景から、住宅の省エネルギー化と太陽光発電等によるエネルギーの創出により年間に消費するエネルギー量を正味で概ねゼロ以下とした「ZEH（ゼッチ：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」の普及啓発に尽力することにより、さらなる太陽光パネルの設置促進につなげていく方針を立てている。

　しかしながら、大阪府の新築住宅に占めるZEH普及率は近畿の他府県に比べ劣ることから、本調査によりZEHの認知度や理解度、ZEH導入におけるネック等を把握し、今後のZEHの普及啓発の計画方針に反映させたい。

1. 調査仮説

仮説1　新築住宅を建てたい（建てた）地域により、ZEHの認知度に差がある

仮説2　新築住宅を建てたい（建てた）地域により、省エネ設備及びZEHの導入・検討状況に差があり、またネックとなるものについても違いが見られる

仮説3　ZEHの導入にあたり、そのメリットや効果への理解度により、導入・検討状況に差がある

1. 調査対象

過去5年以内に新築戸建て住宅を購入した人、今後新築戸建て住宅の購入を検討している人　計1,000サンプル

1. 質問項目

予備質問（5問）

　　SC1　年齢（Ｎ）

　　SC2　性別（ＳＡ）

　　SC3　都道府県（ＳＡ）

SC4　市町村（ＳＡ）

SC5　新築一戸建て住宅の購入（希望）時期（ＳＡ）

本質問　20問

Ｑ１　世帯所得（ＳＡ）

Ｑ２　新築住宅を建てたい（建てた）地域（ＳＡ）

Ｑ３　住宅購入にかかった総額、または予算（ＳＡ）

Ｑ４　住宅の販売形態（ＳＡ）

Ｑ５　住宅購入予算・総額のうち、建物に係る金額（ＳＡ）

Ｑ６　建てたい（建てた）新築住宅の建築面積（ＳＡ）

Ｑ７　建てたい（建てた）新築住宅の階数（ＳＡ）

　　Ｑ８　高断熱化工事（高断熱壁・高断熱窓）の導入・検討状況（ＳＡ）

　　Ｑ９　【Ｑ8導入せず】導入・検討にあたりネックとなったもの（ＳＡ）

　　Ｑ１０ 太陽光パネルの導入・検討状況（ＳＡ）

　　Ｑ１１【Ｑ１０導入・検討した】その理由（ＭＡ）

　　Ｑ１２（全員）導入・検討にあたりネックとなったもの（ＳＡ）

　　Ｑ１３（全員）ZEHの認知度（ＳＡ）

　　Ｑ１４【Ｑ１３認知層】ZEHに関する情報源（ＭＡ）

Ｑ１５【Ｑ１３認知層】メリットや効果の理解度（ＳＡ）

Ｑ１６【Ｑ１３認知層】ZEHの導入・検討状況（ＳＡ）

　　Ｑ１７【Ｑ１６導入・検討した】その理由（ＭＡ）

　　Ｑ１８【Ｑ１３認知層】導入・検討にあたりネックとなったもの（ＳＡ）

　　Ｑ１９ 国・自治体の補助制度の認知度（ＳＡ）

　　Ｑ２０【Ｑ１９認知層】知ったきっかけ（ＭＡ）

1. 検証方法

仮説１　　新築住宅の建築地域（Ｑ２）別にZEHの認知度（Ｑ１３）を集計

仮説２　（高断熱）新築住宅の建築地域（Ｑ２）別に検討状況（Ｑ８）ネック（Ｑ９）を集計

（太陽光）新築住宅の建築地域（Ｑ２）別に検討状況（Ｑ１０）ネック（Ｑ１２）集計

（ZEH）新築住宅の建築地域（Ｑ２）別に検討状況（Ｑ１６）ネック（Ｑ１８）を集計

仮説３　メリットの理解度（Ｑ１５）別に検討状況（Ｑ１６）を集計